

抗インフルエンザウイルス薬の使用状況

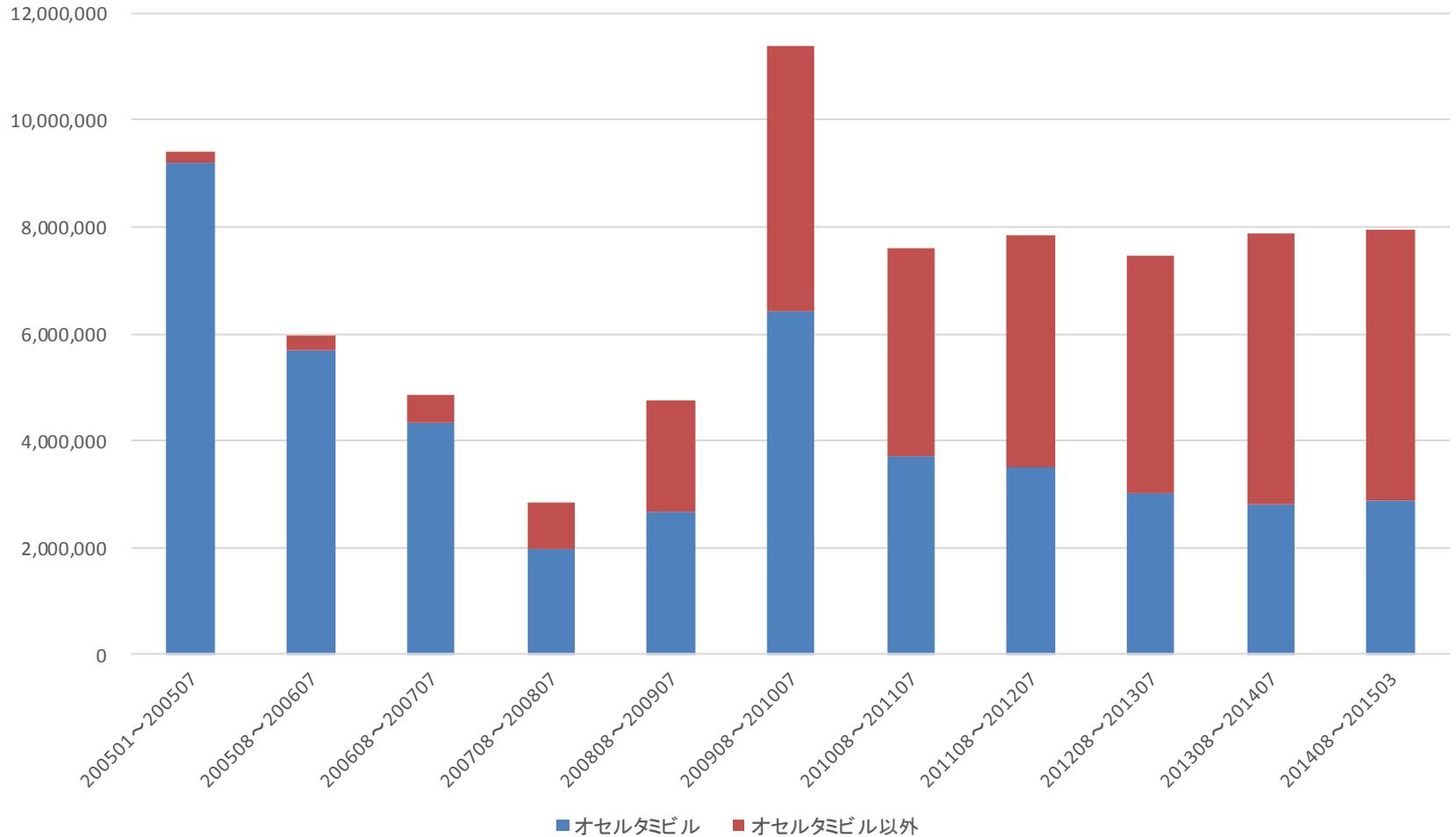
(企業提出資料による)

	0～9歳の推定処方患者数	10～19歳の推定処方患者数	全推定処方患者数	出典 (期間)	ページ
オセルタミビルリン酸塩	約114万人	約7万人	約288万人	株式会社日本医療データセンターデータベースより算出 (2014/08/01～2015/03/31)	2
ザナミビル水和物	約28万人	約65万人	約137万人	JMIRI(株)医療情報総合研究所), JMDC((株)日本医療データセンター)のデータより、GSKが各種条件の下、算出 (2014年10月～2015年4月)	9
ペラミビル水和物	約2万人	約3万人	約21万人	JammNet[ジャムネット(株)]のデータより、塩野義製薬(株)が算出 (2014年10月～2015年4月)	11
ラニナミビルオクタニ酸エステル水和物	約38万人	約106万人	約380万人	JMDC((株)日本医療データセンター)のデータより (2014年10月～2015年3月)	13

オセルタミビルリン酸塩 推定処方患者

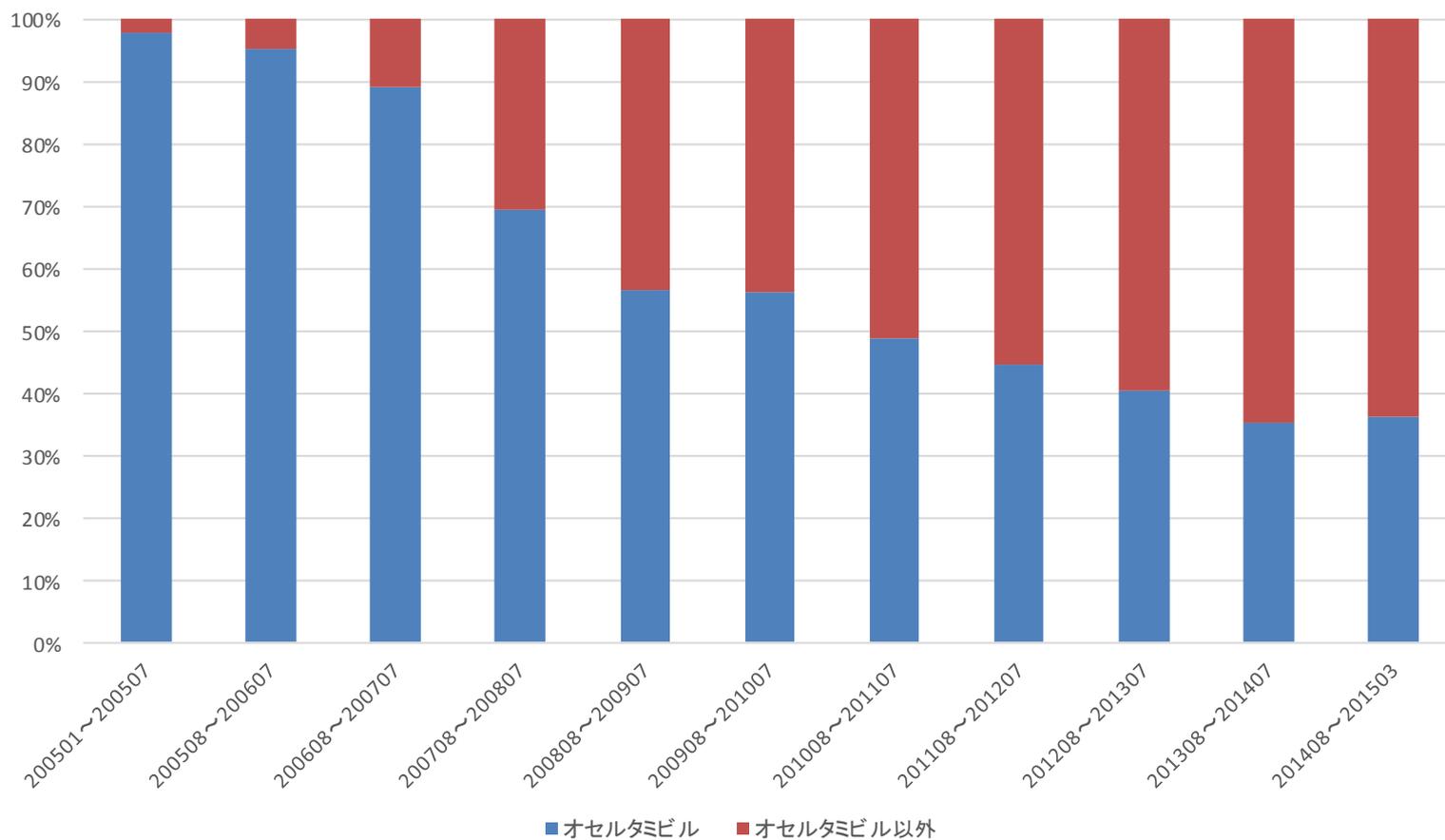
企業： 中外製薬株式会社

年別抗インフルエンザ薬処方推定患者数



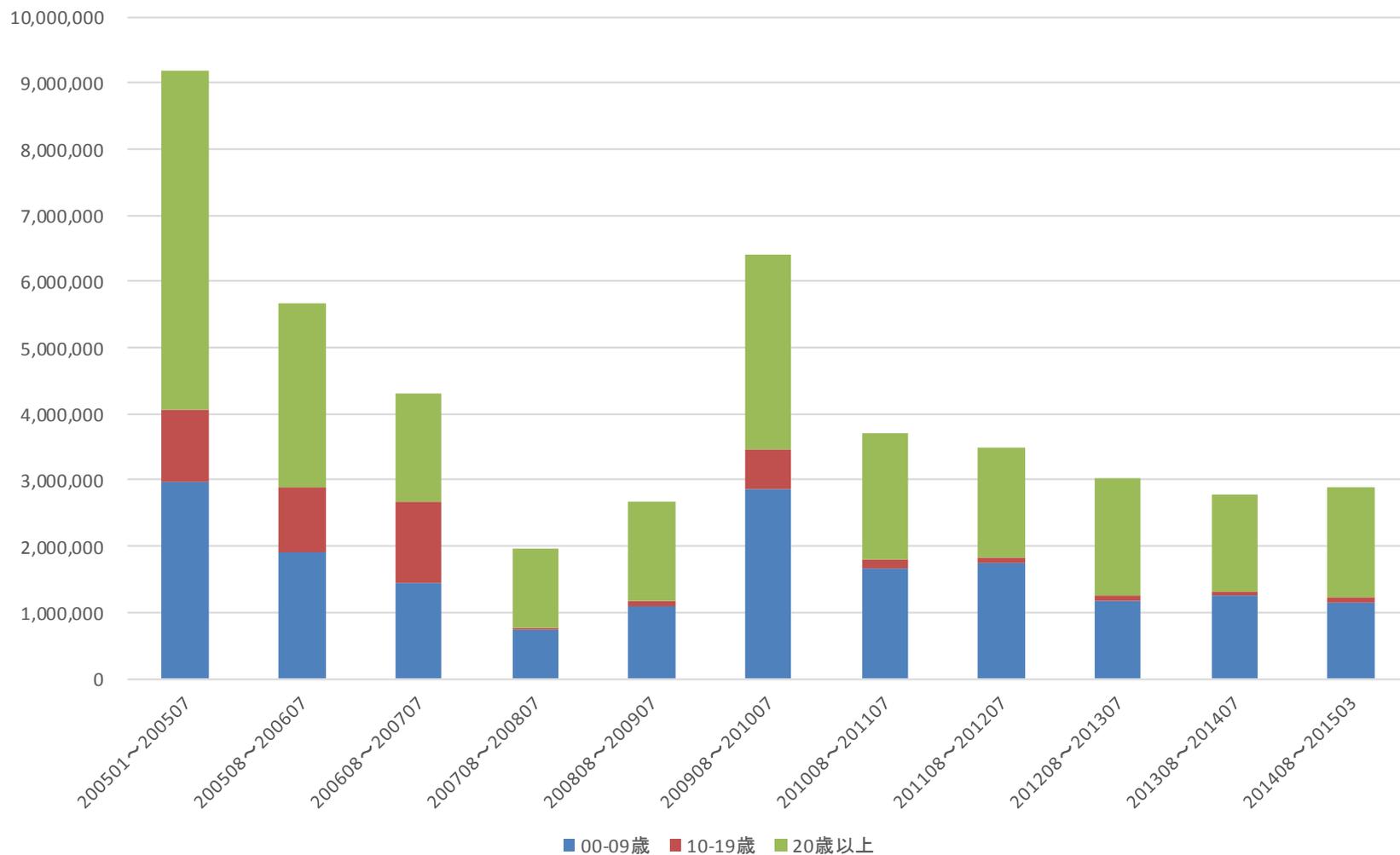
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

年別抗インフルエンザ薬処方状況（推定）



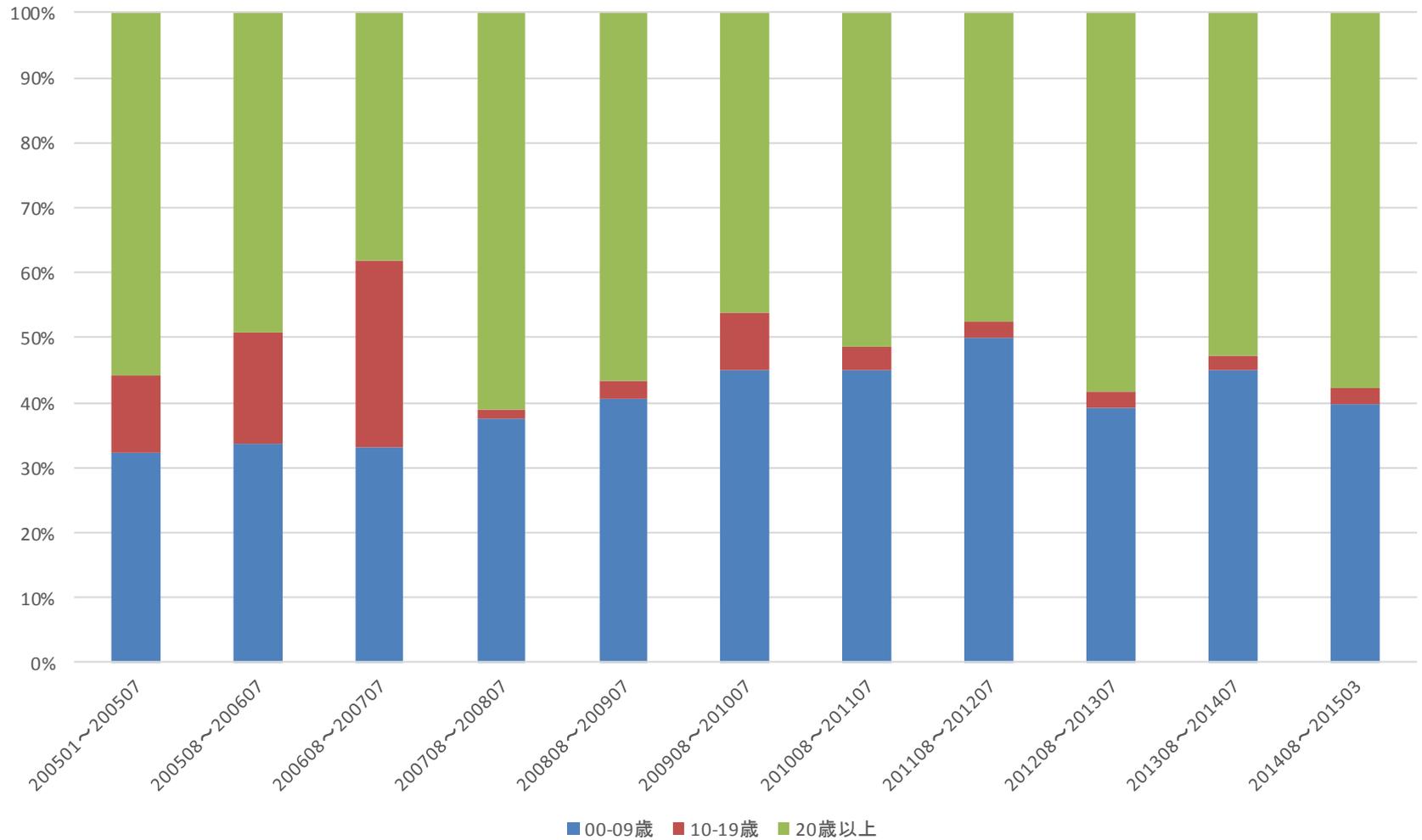
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

年別年代別タミフル処方推定患者数



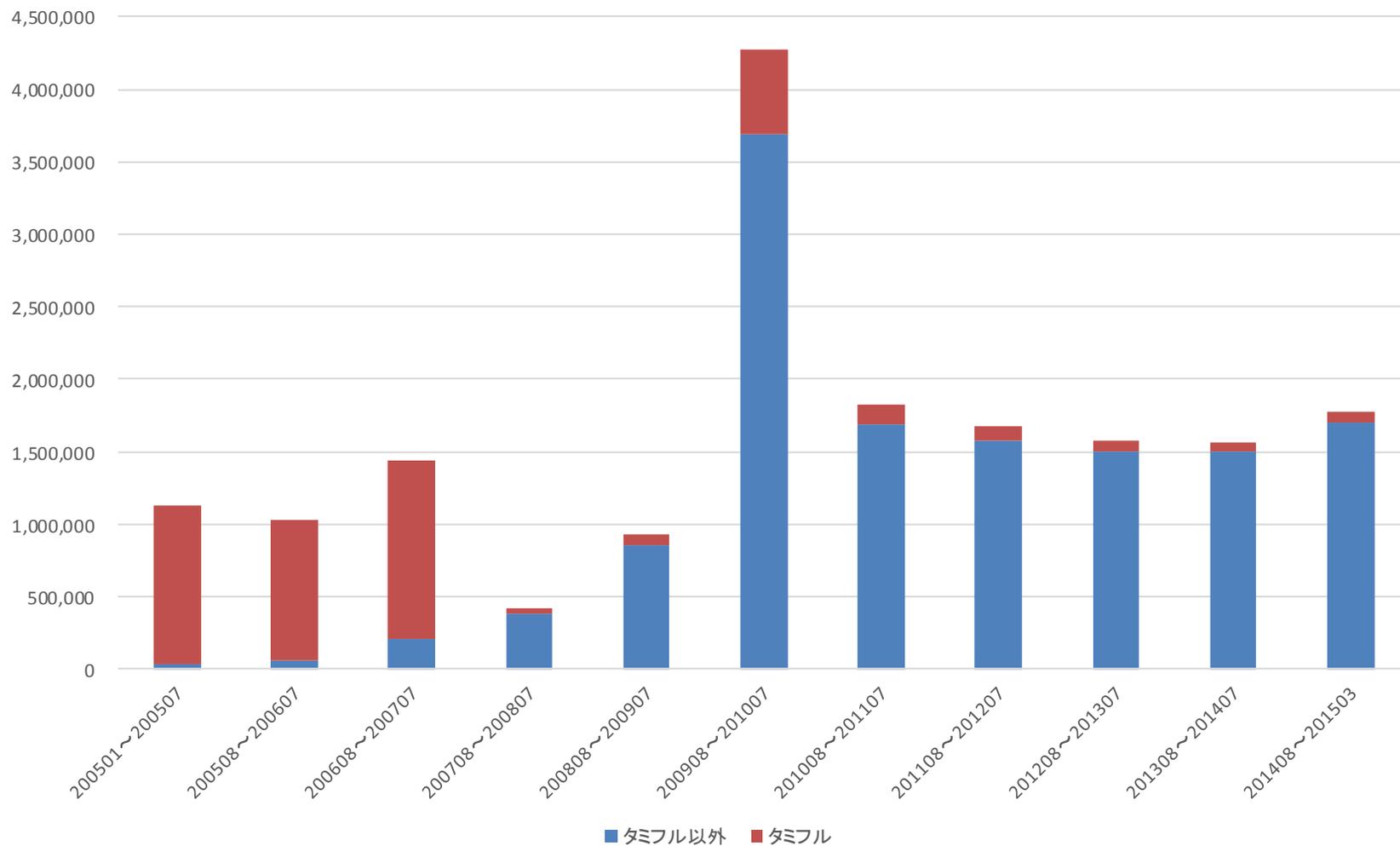
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

年別年代別タミフル処方状況（推定）



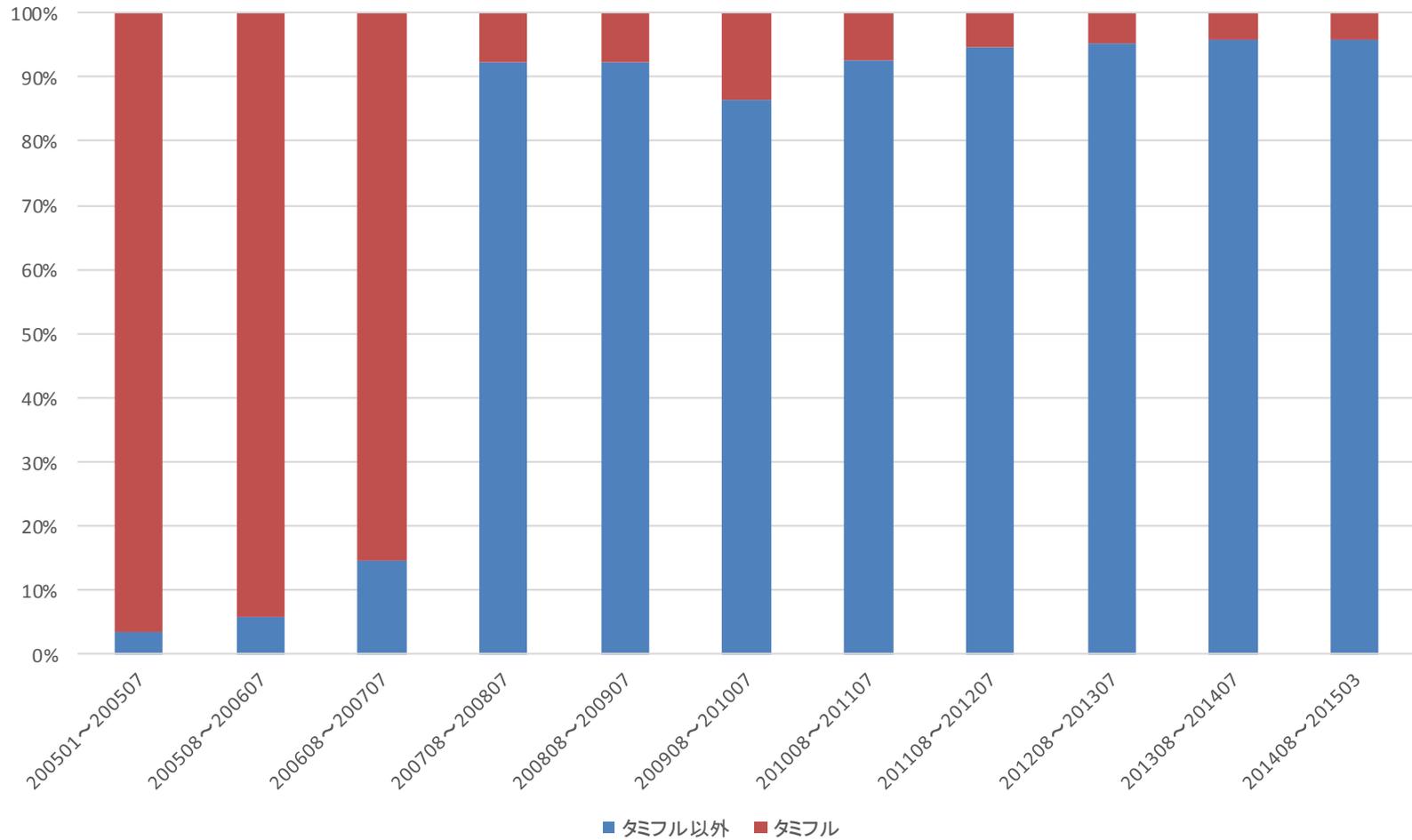
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

10歳代での抗インフルエンザ薬処方推定患者数



株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

10歳代での抗インフルエンザ薬処方状況(推定)

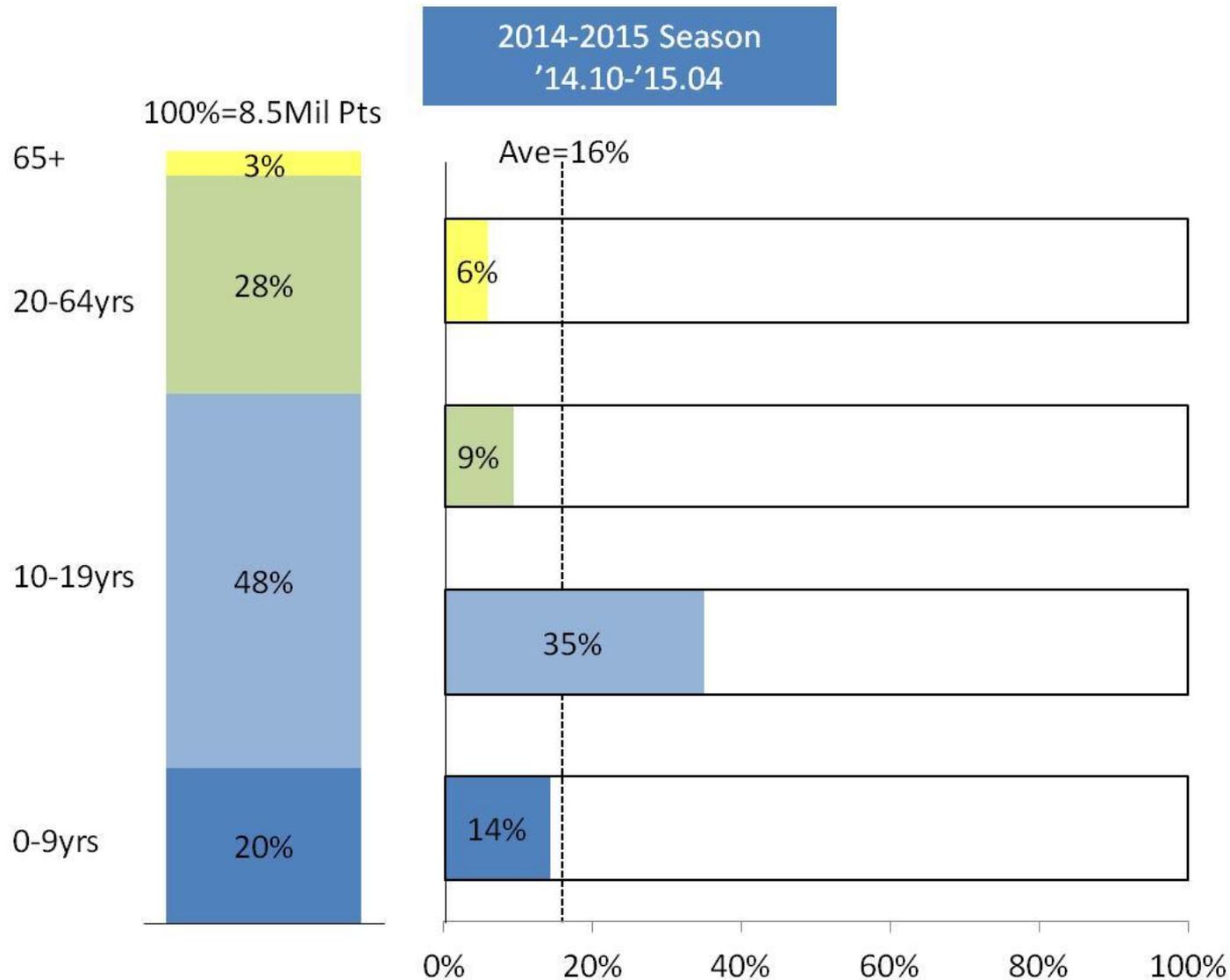


株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

ザナミビル水和物 推定処方患者

企業： グラクソ・スミスクライン株式会社

患者年齢区分別抗インフルエンザ薬の処方状況とリレンザのシェア(推定)



※「抗インフルエンザ薬」には、リレンザの他、タミフル(ドライシロップ、カプセル)、イナビルを含む

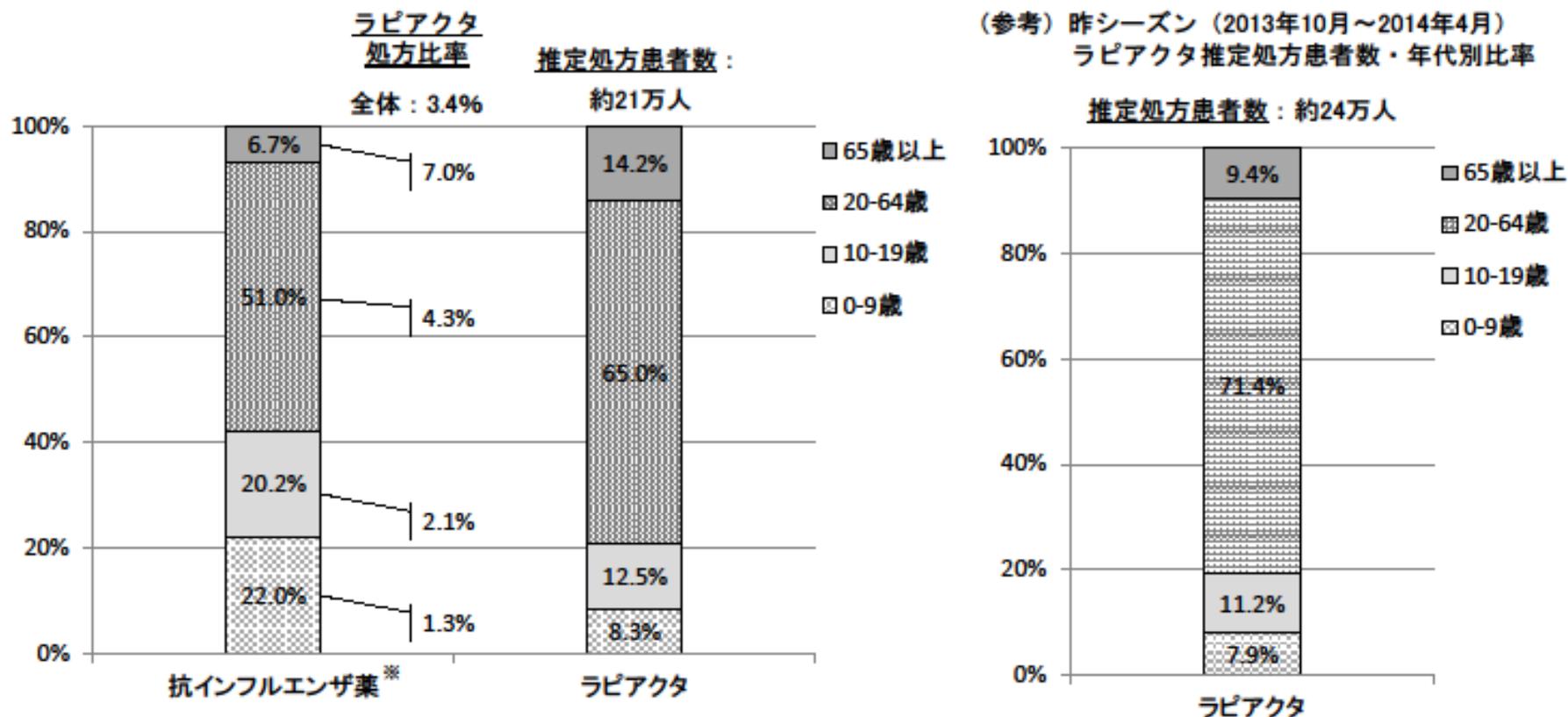
出典:JMIRI(株)医療情報総合研究所)、JMDC(株)日本医療データセンター)等のデータより、GSKが各種条件の下算出

ペラミビル水和物 推定処方患者

企業： 塩野義製薬株式会社

患者年齢区分別抗インフルエンザウイルス薬処方状況及びラピアクタシェア(推定)

＜2014/15シーズン：2014年10月～2015年4月＞



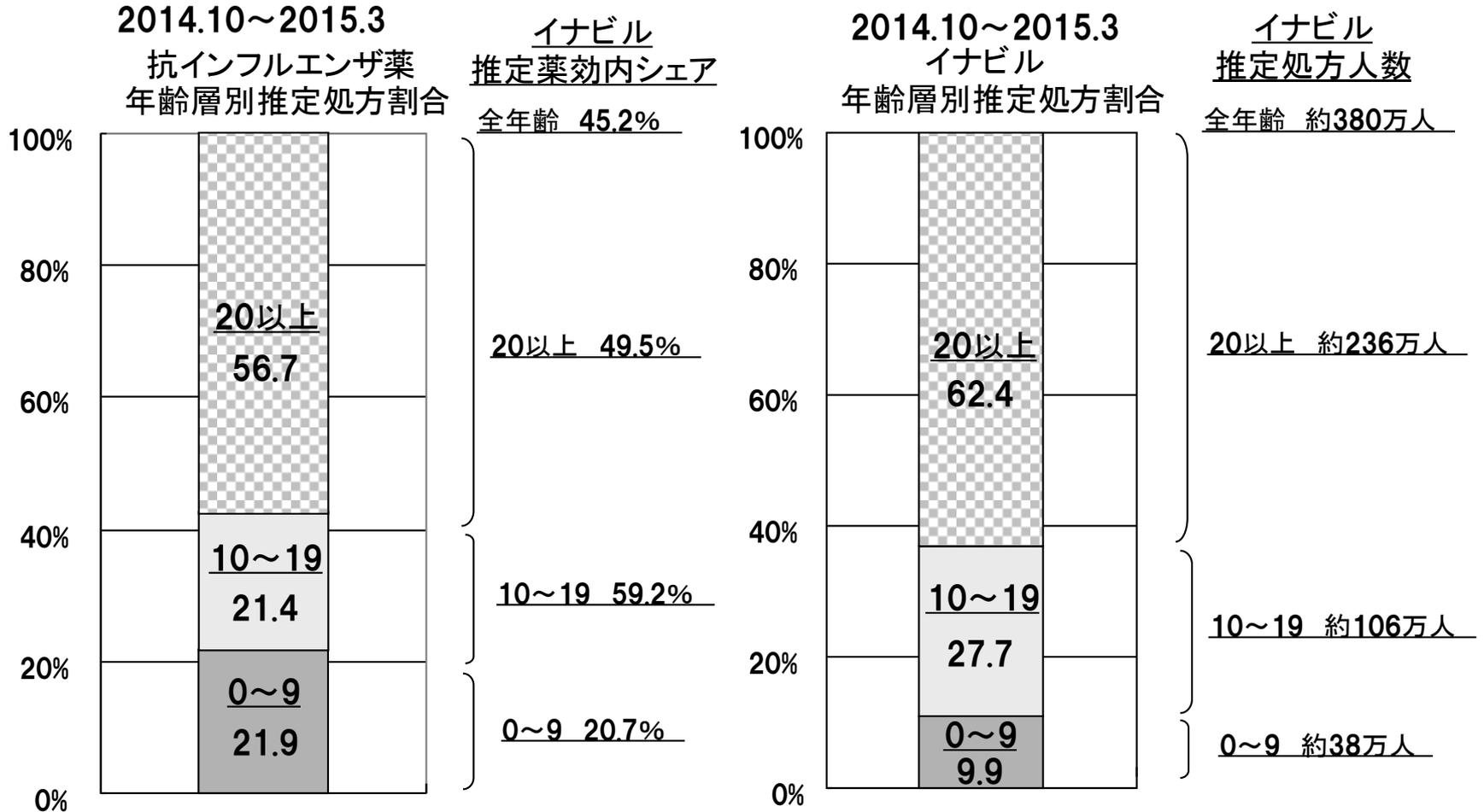
※ 抗インフルエンザ薬：タミフル、リレンザ、ラピアクタ、イナビル

出典：JammNet（ジャムネット株式会社）のデータより、塩野義製薬株式会社が算出

ラニナミビルオクタン酸エステル水和物 推定処方患者

企業： 第一三共株式会社

抗インフルエンザウイルス薬の使用状況とイナビルの推定シェア 【2014年10月～2015年3月の年齢層別】



出典；JMDC（（株）日本医療データセンター）のデータより、第一三共が推定